

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	福島区
学 校 名	鷺洲小学校
学校長名	川西 邦彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立鷺洲小学校では、第6学年 127名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数における平均正答率(%)については、全国平均よりも国語は5.2ポイント高い。算数も9ポイント、理科は、3.9ポイント高い状況である。また大阪市平均よりも国語は、7ポイント、算数は9ポイント、理科は6ポイント高い状況である。また、平均無回答率(%)についても、全国平均及び大阪市平均よりも良好な状況である。本校の6年生は、学力が高く、回答についても意欲的に取り組んでいることがわかる。児童質問紙については「自分には良いところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、大阪市より高いが「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたりすることができていますか」については、全国平均及び大阪市よりも低い結果となった。引き続きいじめについての指導をするとともに、主体的で対話的で深い学びができる授業を工夫していきたい。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】学習指導要領の内容「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」すべての内容について全国平均、大阪市平均を超えている。特に「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」について大阪市よりも10ポイント以上高く本校の児童の強みであるといえる。【算数】学習指導要領の内容「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべての内容について全国平均、大阪市平均を超えている。特に「図形」「データの活用」については大阪市平均よりも10ポイント高い。学習指導要領の領域にいて「データの活用」について課題があるといわれてきたが本校では高いということは中学高校につながる学力の基礎ができており、思考力・判断力・表現力が高いといえる。【理科】「エネルギー」を柱とする領域「粒子」を柱とする領域「生命」を柱とする領域「地球」を柱とする領域について、全国平均、大阪市平均よりも高い結果となった。

質問調査より

児童質問紙の「自分にはよいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「読書が好きですか」「学校の勉強以外に一日どれくらい勉強していますか」については大阪市平均回答よりも高い結果となった。平日は2時間以上、休日は4時間以上の勉強をしているという本校の児童の回答結果は、大阪市及び全国よりも高い。これは、通塾率の高さであるといえる。また、「将来の夢や目標をもっていますか」については、これまでと比較して、今年度大阪市の平均より高いという結果となった。一方で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」また「友達関係に満足していますか。」についての肯定的な回答については、大阪市及び全国よりも低い結果となった。いじめについての指導を継続的に進めるとともに、不登校児童の解消をめざす。また、満足できる友達関係を築くことができるような仲間づくりを今後も進め中学校の進学を見据えて指導を組織で進めていく。

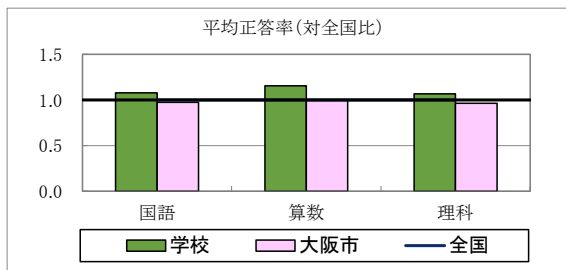
今後の取組(アクションプラン)

今年度は、研究教科を指定せずに「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を身につける学習-各教科等の「見方・考え方」を広げ深めることを通した論理的思考力・表現力の育成-を研究の視点として取り組んでいる。児童質問紙の「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたりすることができていますか」については、大阪市の平均よりも低い結果となった。主体的で対話的で深い学びができる授業づくりを今後も組織で推進し、「習得」「活用」「探究」という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり思いや考えをしたりすることに向かう「深い学び」が実現できるように研究を深めていくことが大切である。「全国学力・学習状況調査」を組織で分析したり、大阪市教育委員会の学力向上支援チーム事業のSAと連携したりして、さらなる授業改善に向けて全教職員で研究に尽力していく。

【 全体の概要 】

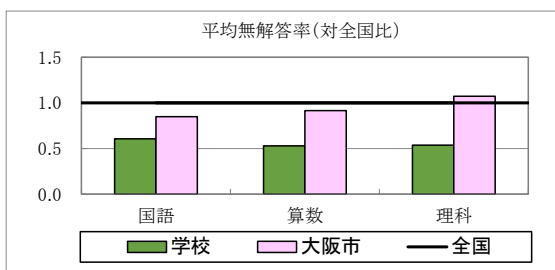
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	72	67	61
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

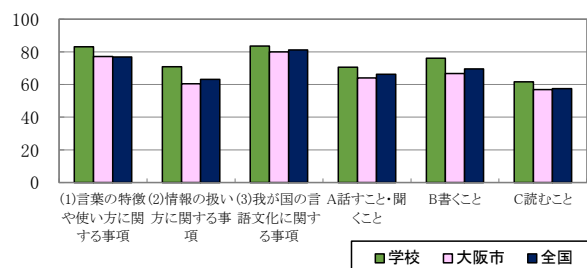
	国語	算数	理科
学校	2.0	1.9	1.5
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	83.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	70.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	83.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	70.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	76.1	66.7	69.5
C 読むこと	4	61.6	56.9	57.5

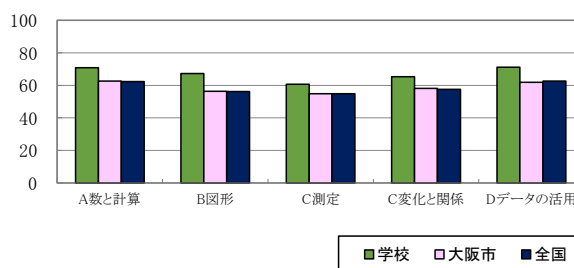
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



【 算 数 】

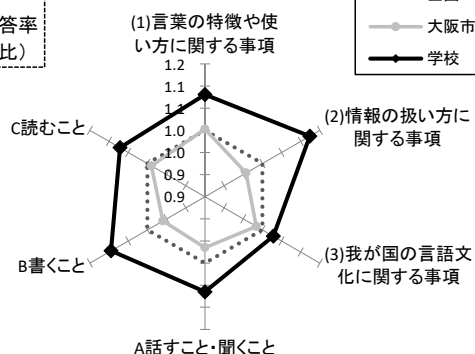
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	70.9	62.7	62.3
B 図形	4	67.3	56.4	56.2
C 測定	2	60.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	65.3	58.2	57.5
D データの活用	5	71.1	61.9	62.6

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



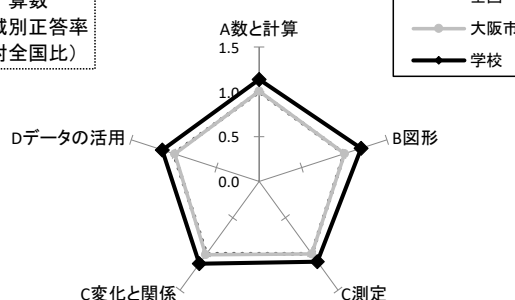
国語

内容別正答率
(対全国比)



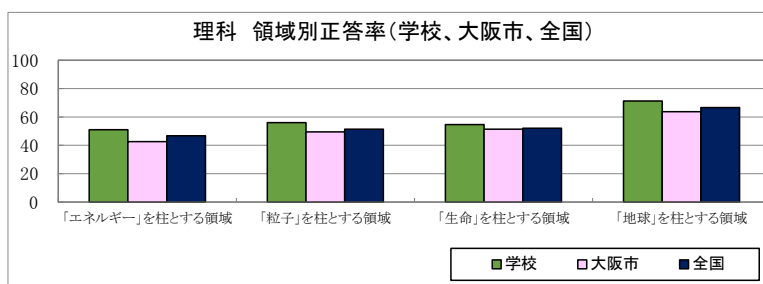
算数

領域別正答率
(対全国比)

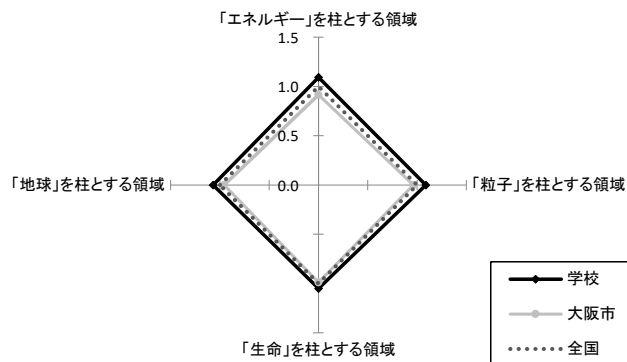


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	51.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	56.0	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	54.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	71.3	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



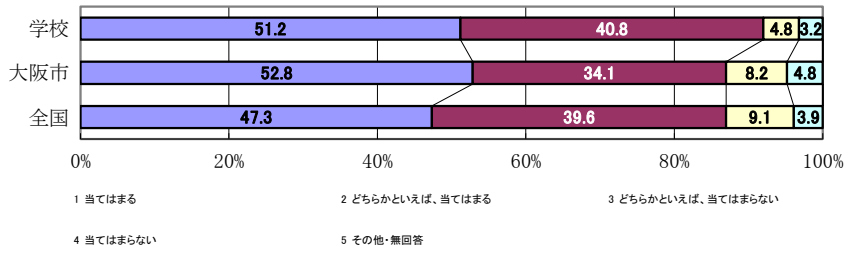
児童質問より

質問番号
質問事項

5

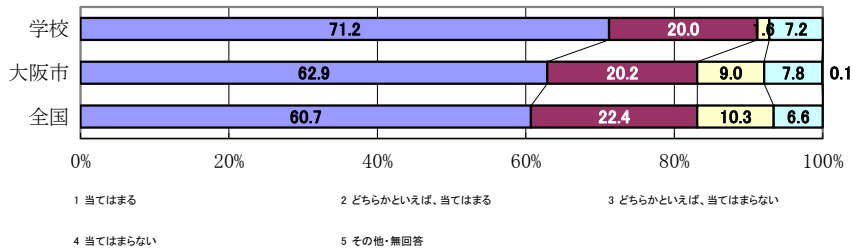
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



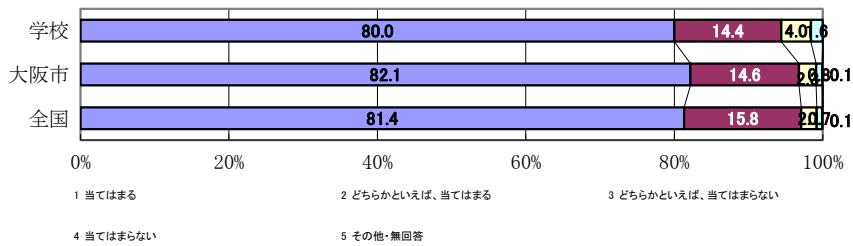
7

将来の夢や目標を持っていますか



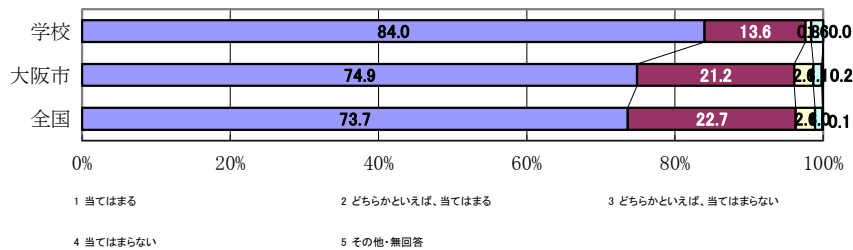
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



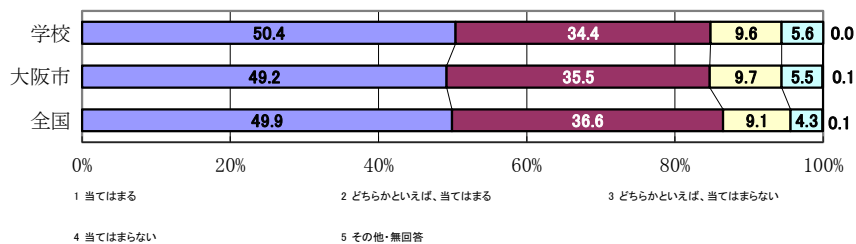
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



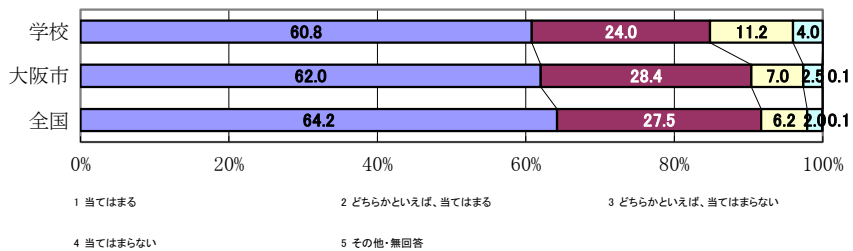
児童質問より

質問番号
質問事項

14

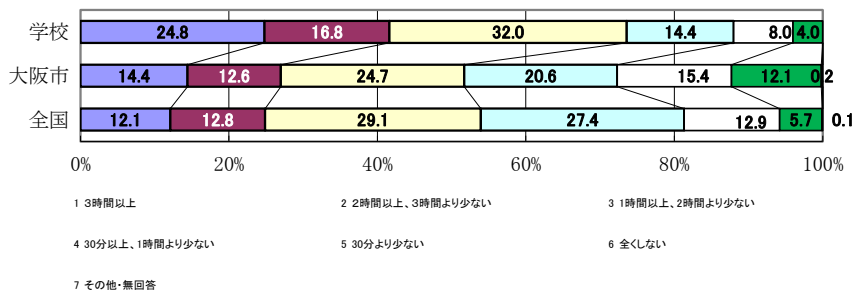
友達関係に満足していますか

1 2 3 4 5 6 7 8



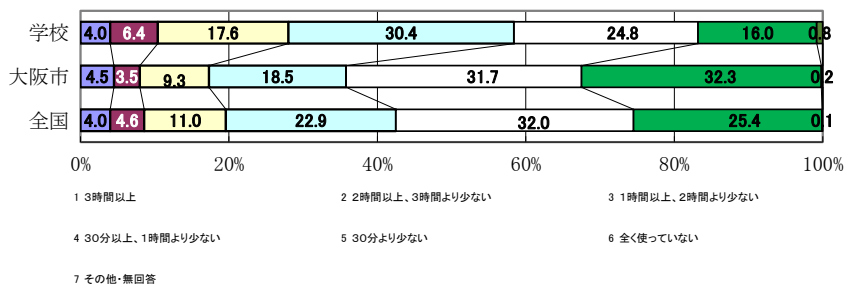
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



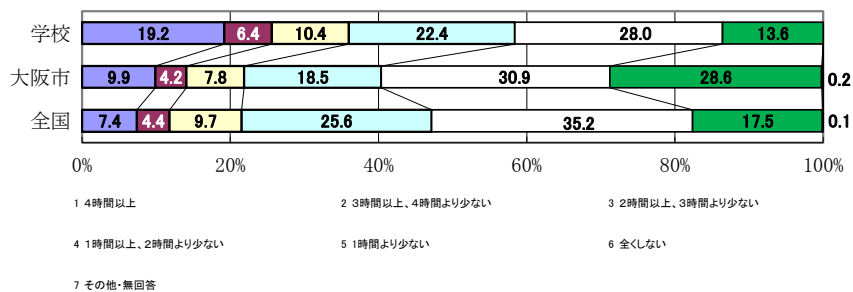
18

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



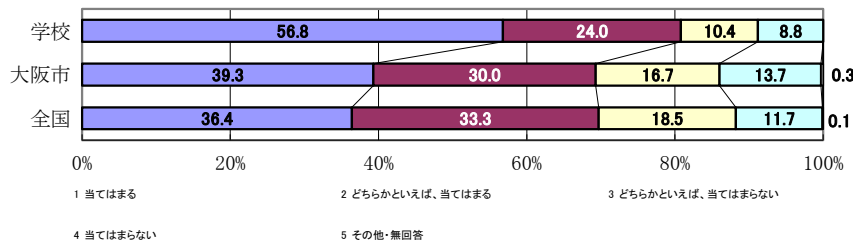
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



24

読書は好きですか



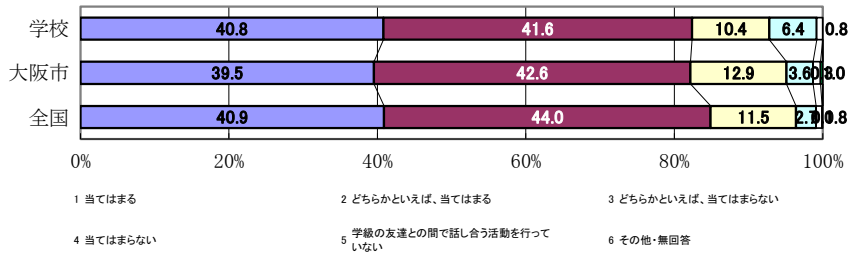
児童質問より

質問番号
質問事項

35

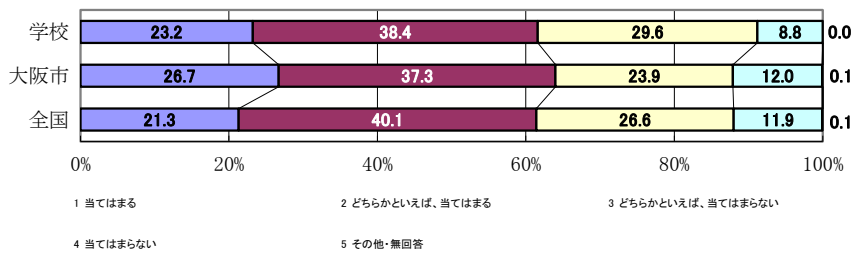
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



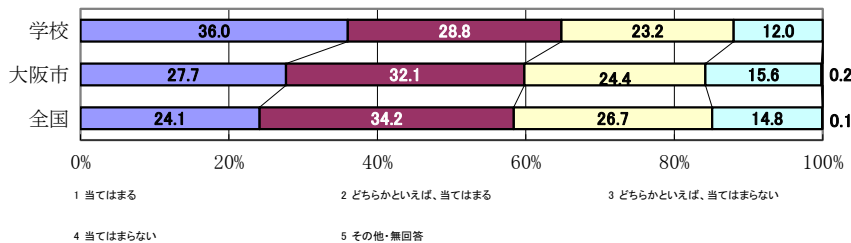
44

国語の勉強は得意ですか



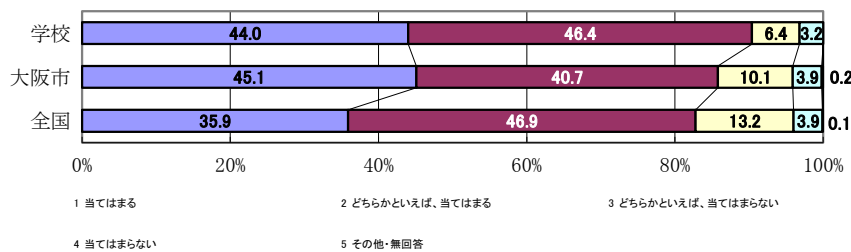
45

国語の勉強は好きですか



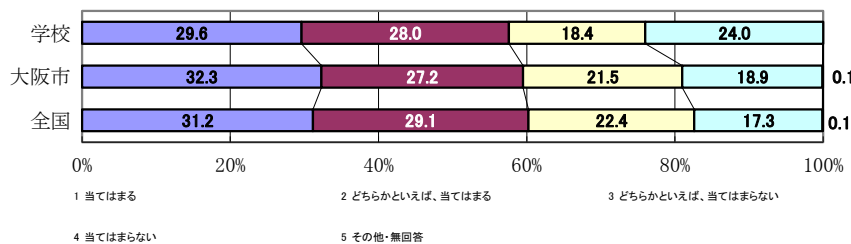
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



52

算数の勉強は得意ですか



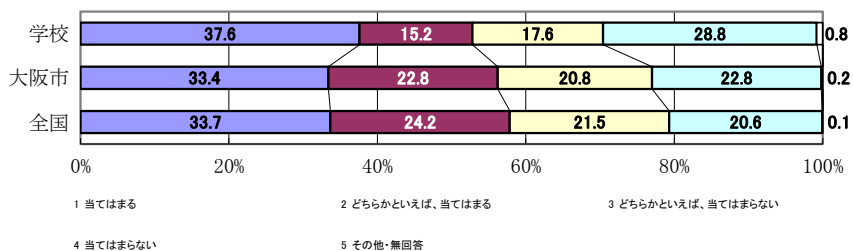
児童質問より

質問番号
質問事項

53

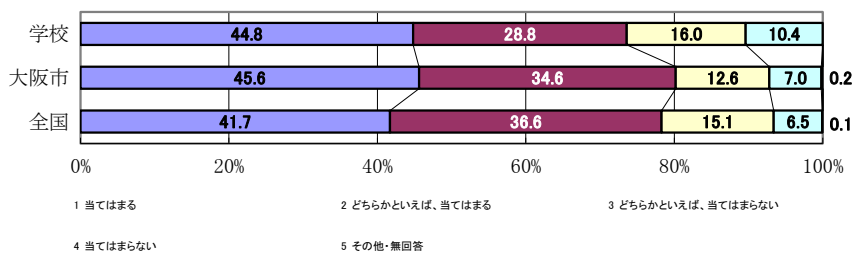
算数の勉強は好きですか

1 2 3 4 5 6 7 8



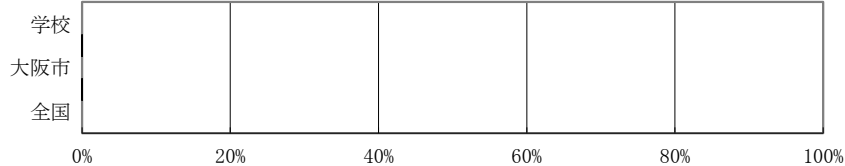
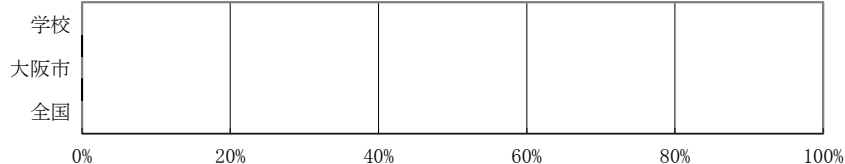
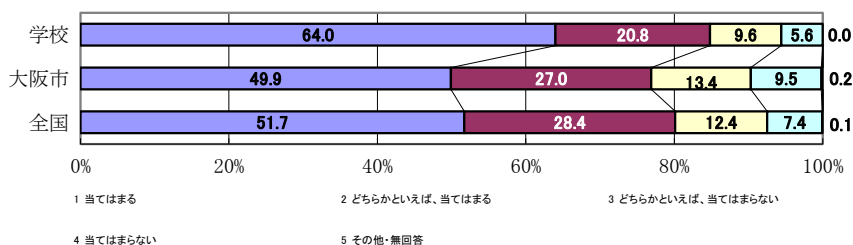
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



61

理科の勉強は好きですか



学校質問より

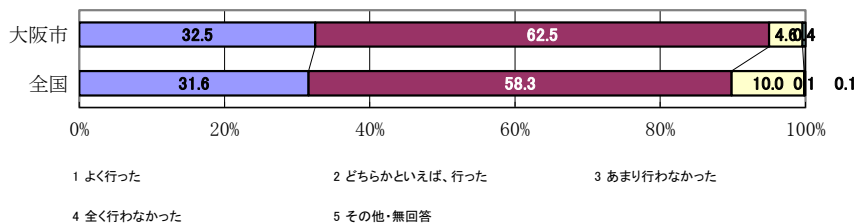
質問番号

質問事項

32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

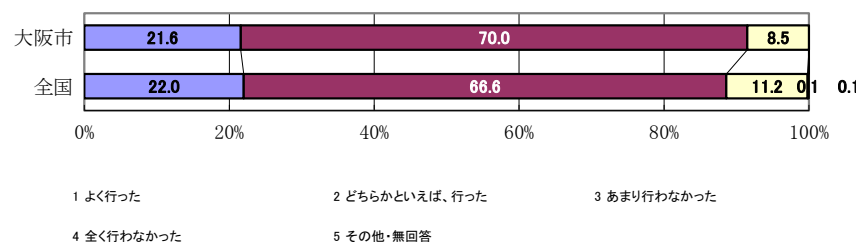
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

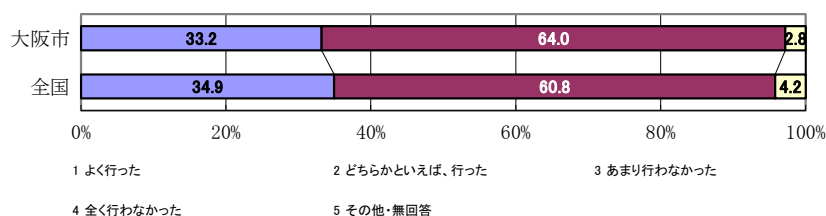
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



41

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

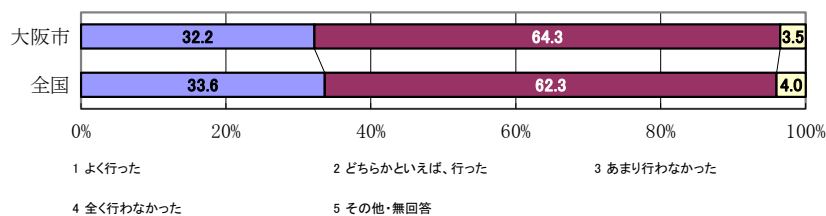
学校 「よく行った」を選択



44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

